2-7　岡崎共通施設

2-7-1　岡崎情報図書館

岡崎情報図書館は機構（岡崎３機関）の共通施設として３研究所の図書，雑誌等を収集・整理・保存し，機構（岡崎３機関）の職員や共同利用研究者等の利用に供している。

現在（2009.12）岡崎情報図書館は雑誌 1,483 種（和 287，洋 1,196），単行本 96,206 冊（和 14,755，洋 81,451）を所蔵している。

また，学術雑誌の電子ジャーナル化の趨勢にいち早く対応するよう努めており，現在，機構（岡崎３機関）として約 11,000 誌の電子ジャーナルが機構内部からアクセスできるようになっている。

岡崎情報図書館では専用電子計算機を利用して，図書の貸出しや返却の処理，単行本ならびに雑誌の検索等のサービスを行っている。このほか Web of Science，SciFinder Scholar 等のデータベース検索や学術文献検索システムによるオンライン情報検索のサービスも行っている。また，ライブラリーカードを使用することによって，岡崎情報図書館は 24 時間利用できる体制になっている。

2-7-2　岡崎コンファレンスセンター

岡崎コンファレンスセンターは，国内外の学術会議はもとより研究教育活動にかかる各種行事に利用できる岡崎３機関の共通施設として平成９年２月に竣工した。センターは共同利用研究者の宿泊施設である三島ロッジに隣接して建てられている。

岡崎３機関内の公募によって「岡崎コンファレンスセンター」と命名された建物は，延べ床面積 2,863 m^2，鉄筋コンクリート造２階建てで，大型スクリーン及びAV機器等を備えた 200 余名が参加可能な大会議室，120 名の中会議室，100 名の小会議室などが設けられている。中・小会議室はそれぞれ会議等の目的に応じて２分割して使用することもできる。

2-7-3　岡崎共同利用研究者宿泊施設

自然科学研究機構岡崎３機関には，日本全国及び世界各国の大学や研究機関から共同利用研究等のために訪れる研究者のために三島ロッジという共同利用研究者宿泊施設がある。施設概要は下記のとおりで，宿泊の申込みは，訪問する研究室の承認を得て, web 上の専用ロッジ予約システムで予約する。空室状況も同システムで確認することができる。

三島ロッジ　　室数　シングル：60 室　ツイン：14 室　ファミリー：20 室
　　共同設備：炊事場，洗濯室，公衆電話，情報コンセント

また，長期宿泊者用として新たな宿泊施設「明大寺ロッジ」を建築中であり，平成 22 年度初旬に完成の予定となっている。完成の際には，これまで入居を許可されていなかった総合研究大学院大学に所属する留学生用にも８室を割り当てる予定となっている。施設概要は下記のとおりで，宿泊の申込方法等はすべて三島ロッジと同様になる見込みである。

明大寺ロッジ　　室数　シングル：14 室　ファミリー：３室

2-7-4　職員会館

職員会館は機構（岡崎３機関）の福利厚生施設として建てられ，食堂，喫茶室，和室，会議室，トレーニング室等が設けられている。